



学長就任にあたり

学長 赤路 健一

前任の後藤学長の後を受け本年4月から京都薬科大学学長を拝命いたしました。大変な重責であると感じを引締めしていますが、当然ながら一人で遂行できる任務ではありません。学生の皆さんや保証人の方々、教職員や関係各位のご意向をよく把握し、京都薬科大学が皆さんに信頼される大学としてより一層発展する一助になりたいと願っております。皆様方のご支援をいただけるよう精いっぱい務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本稿を執筆している現時点（2月）での最も喫緊かつ将来的な課題は新型コロナウイルス感染の制御であると考えております。すでに2年にわたる感染経過で新型コロナウイルスの概要が判明し、ワクチンもすでに2回接種がかなり広範囲に実施され一定の効果が確認されています。にもかかわらず、新たな変異ウイルスの蔓延が社会活動に大きな影響を及ぼしており、大学においても感染がじわじわと

広がりとつあります。このような状況の下、強靱かつ快適な学習環境の確保がもっとも喫緊の課題であると認識しています。これまで行ってきた感染防止策の徹底や遠隔と対面手法を組み合わせた最適な学習方法の探索を引き続き継続する必要があります。同時に、時々刻々変化する状況を正確に把握し機動的な対応策を講じることにより、すべての年次の学生および教職員が安心して交流できるキャンパスの提供と感染防止を両立させなければなりません。しばらく手を緩めることのできない課題ですが、教職員をはじめ関係する皆様方とともに新しい時代に向けた大学キャンパスの構築を目指したいと考えています。

教育については、薬剤師免許取得を前提とした自立した薬剤師の育成、が引き続き本学の目標となると考えています。入学してこられた学生さんたちすべてを6年間で卒業に導き薬剤師国家試験に合格していただくこと、これがその基本です。この実現のため

CONTENTS

■ 特集

本学のキャリア支援プログラムについて…………… 4

■ ご挨拶

学長就任にあたり 学長 赤路 健一…………… 1
学長退任のご挨拶 前学長 後藤 直正…………… 2
定年退職のご挨拶…………… 2

■ イベント

白衣授与式…………… 10
2021年度合同多職種連携教育(IPE)…………… 11

■ 報告

2021年度京薬祭を終えて…………… 14
2022年度大学院薬学研究科
薬学専攻博士課程（冬季募集）の入学選考結果…………… 15
受賞・掲載…………… 19
京都薬科大学奨学寄附金芳名録…………… 20

■ コラム

私の薦める、私の一冊…………… 13
卒業生からのメッセージ…………… 16
学生相談室だより…………… 17

■ お知らせ

単位互換制度～他大学の科目・講座を受けてみませんか～…………… 7
奨学金について…………… 8
京薬会だより…………… 10
生涯教育センターからのお知らせ…………… 12
2022年度オープンキャンパス開催のお知らせ…………… 13
2022年度学費等の納入について…………… 15
人事…………… 15
Library News…………… 16
クラブ・サークル紹介…………… 18

めに、1～2年次と最終学年次に特に注意を払いたいと考えています。これまでのデータに基づいた議論と適切な対応によってこれらの年次を無理なく乗り越えられる体制の構築を目指します。

同時に、本学の大きなブランドである研究力のさらなる飛躍を目指します。次世代の“研究の京薬”ブランドの確立には、将来性のある研究領域の開拓とともに、若い研究者の育成が重要課題であると考えています。海外を含めた研究機関との連携や大学

院の充実を通じ、本学の学位取得者が国内外での研究活動に安心して従事できる体制を構築することが目標です。

先達の諸先生方が作り上げてこられた京都薬科大学のブランドをさらに広く深く国内外で認識していただくためには、これら以外の課題も含めて一つずつ着実に解決していく必要があります。あらためて京都薬科大学へのご支援をお願いさせていただき、私のご挨拶とさせていただきます。

学長退任のご挨拶



前学長 後藤 直正

本学・助手として採用されて以来、内地留学、海外留学、他学の客員助教授兼任のときはあったものの通算44年、学部入学から数えますと実に半世紀にわたる日々を京都山科の地で、多彩な学生、職員、そして近隣の方々とともに過ごしました。

大阪・京橋から川端疎水がごうごうと流れる三条京阪、乗り換え、蹴上から登山電車の雰囲気や醸す京津線で御陵駅、たどり着いた山科の地は至る所に田んぼや竹藪があり、春には軒先でタケノコが売られていたことを覚えています。また夜行電車までの長いときを山岳部部室で過ごし、駄弁り疲れ（酔い）から山科駅までの登攀で遭難しそうになったこともありました。「走馬灯より駆け抜けて壁の馬」（寒川猫持）。いま脳裏に半世紀の思い出が投影さ

れています。これらの思い出は甘くもあり、酸っぱくも、辛くも、苦くも、塩辛くも、旨くもあり、これらが混じり合った醍醐味の半世紀を過ごせたことに感謝するばかりです。

自然の中で遊ぶにはルートファインディングが重要です。ある岩壁を調子よく登っていても、越えられない処に突き当たることがあります。行き詰まりです。調子のいいときは、目の前の数メートルほどしか見ていない、近視眼的行動なのです。逆に、厳しい箇所も越えて鼻歌交じりの壁になることもあります。いずれにしてもいまの位置を遠視眼的に、そして俯瞰的に捉えることがということが大事のような気がします。本学の任務でもそれを感じたことがありました。

薬学6年制が始まった2006年からの順風は逆風に変わりつつあります。逆風をかわさねばなりません。その後、どこに向かうことになるのかという大状況の変化を予見する遠視眼が求められているような気がします。

個人の人生が豊かになってこそ、組織の真の繁栄があります。本学に集われた職員、学生、すべての方々が実り豊かに歩まれますことを祈念いたします。

定年退職のご挨拶



創薬科学系
薬品製造学分野

教授 山下 正行

私は1979年本学を卒業後、製薬会社に就職しましたが知識不足を痛感し大学院進学を考えました。3年後本学には断られましたが、幸いにも大阪大学薬学研究科で引き受けてもらえることになり、博士前期・後期課程を修了しました。学位取得後テキサス大学オースチン校（S. F. Martin教授）の博士研究員の時、化学教室（後に機能分子化学教室に改名）の太田俊作名誉教授に声を掛けて頂き、1991年に本学助手として着任しました。着任後は有機化学系の講義・実習を担当しました。

高校卒業直後の学生さんに「有機化学は暗記科目である」という考えを改め、理論的に考える科目である」という発想の転換に腐心しながら講義を続けてきました。試験では暗記に頼ることなく理論的な思考をもとに解答する問題を中心に出题したため、正規試験での単位取得が難しい1年次科目のビッグ3の一つという不名誉なネーミングをいただいています。しかしながら、未だ学生さんの発想の転換を達成することなく定年退職を迎えることになりました。在職の先生方に引き継ぎたいと思います。

最後に、これまで30年という長きにわたり、ご支援・ご指導いただきました教職員の皆様に厚く御礼申し上げます。今後も京都薬科大学が益々発展し医薬業界で活躍する有為な人材を輩出することを祈念し、退職の挨拶とさせていただきます。皆様大変ありがとうございました。



基礎科学系
物理学分野

教授 有本 収

私は2007年4月に岡山大学から本学に着任しました。6年制薬学教育がスタートした2年目にあたります。南校地に当時あった南校舎（現バイオサイエンス研究センター）3階が私の居室でした。正門東側にテニスコートのあったことが思い出されます。

以来1年次の物理学講義を担当させていただきました。この科目は専門基礎科目として物理系薬学と呼ばれる薬学専門科目への橋渡しの役割を担っています。物理という学問の特長は、物事を単純化する・基本に戻る・論理的に考える・なぜ？の心を持ち続けることにあると思います。薬学専門教育の学修に留まらず、学問することの楽しさ知り、広い科学的視野を持ってもらうことを目指してきました。しかし、高校物理を選択しなかった学生諸君が多く、他の科目と違って受講生間でスタートラインが揃っていないため、特段の配慮を模索し続けた15年でもありました。どこまで出来たか心許ない限りですが、逆に、講義を通して学生諸君から学ぶ機会も多々あり、ありがたく思っています。卒論研究配属生や顧問であった空手道部部員の皆さんとの付き合いも思い出深く、私にとって貴重な財産となりました。

最後に、お世話になった皆様方に感謝すると共に、本学の益々のご発展を祈念いたします。

最後に、お世話になった皆様方に感謝すると共に、本学の益々のご発展を祈念いたします。



事務局長

山下 馨

私が、ご縁をいただき本学に着任したのは2016年5月でした。

風格ある校門やレンガ外壁の校舎、目新しく立派な記念館などを擁する静謐な修学環境、明るく開放的な中庭に集い、穏やかに談笑しながら理知的な会話（？）を交わす学生や職員を見て、このキャンパスで働けるんだ、と強く意識したことを覚えています。

着任以来6年の間、伝統校の名に恥じぬよう自らの担うべき役割について真剣に考え、また、皆様の信頼に応えられるよう本学の管理運営に携わって参りました。2017年～2022年の間、第3期中期計画に取り組む中で、「組織は人なり」の信念の下、とりわけ人材育成には傾注し、職員個々の自己研鑽機会の充実に取組むと共に、調達検収室、情報管理推進室の設置など事務組織体制の整備を通じ大学の運営機能

強化を図るなど組織力の向上にも取り組みました。

2020年1月、日本で初めて新型コロナウイルスの感染者が神奈川県で確認されて以降、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置など、社会の様相は一変しました。本学での日常も一変し、かつて中庭で見た光景は消え、キャンパスの活気も失われました。幸い、2018年から情報管理推進室や教務課を中心に着手したICT環境の整備が功を奏し、オンライン授業と対面授業を併用したハイブリッド授業やWebを活用した教育・研究の推進等により、新たな日常に対応した大学運営が継続されています。

本学にはステークホルダーズから多くの期待が寄せられ、それは今後より一層強くなるものと思います。本学では、伝統を礎として、医療界の各領域で活躍する多くの有為な人材を輩出し続ける取り組みが、今後も進められていくものと確信しています。

withコロナというニューノーマルな社会の中にあっても“京薬”は永遠に不滅です。

最後に心からのエールを送らせて戴き、私の定年退職のご挨拶とさせていただきます。

まけるな“京薬”！！ がんばれ“京薬”！！



本学のキャリア支援プログラムについて

本学に入学した学生の皆さんは、薬剤師として医療や社会に貢献したいという思いを持って入学された人が多いと思います。実際に、入学直後のアンケートでは、病院などの医療現場で活躍する薬剤師を目指している人が多いことが表れており、卒業後は薬剤師免許を活かして働くことを希望している人が多いことがうかがえます。

多くの学問分野がある中、皆さんが選択した「薬学」は、「化学」「生物学」「物理学」「数学」などの自然科学をベースとした総合科学の学問とも言われ、その守備範囲はとても広いことが特徴です。それゆえに、将来活躍できるフィールドも多岐にわたり、病院などの臨床現場に留まらず幅広い分野で卒業生は活躍しています。

本学では、皆さんがどのような進路を目指しても、それが実現できるよう様々なプログラムを用意してサポートしています。本特集記事では、そのサポート体制についてご紹介していきます。

進路支援課長

Feature article.

■薬学生が活躍する進路

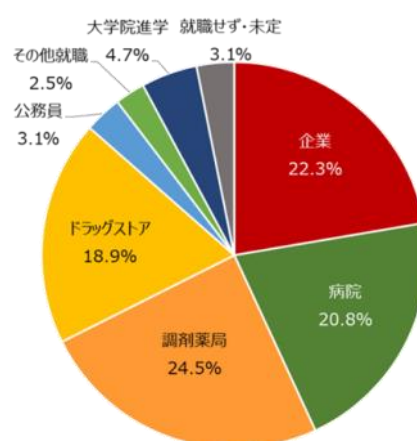
冒頭で紹介したように、薬学生の進路は多岐にわたります。主なフィールドは下図のとおりです。なお、「その他企業」の中には出版社や商社、コンサルティング会社なども含まれます。



■薬学生の就職実績（本学・全国の動向）

薬学部学生の進路は多岐にわたりますが、全国の薬学生の進路の中で「企業（製薬企業など）」「病院」「薬局（保険薬局、ドラッグストア）」の3つの業種への就職が全体の80～90%を占めています。就職率は、ほとんどの薬学部が90%を超える数字となっていますが、先に示した3つの業種への就職率の比率は、各大学によって様々です。

本学は、私立薬学部の中では、「企業」への就職率が高く、「薬局」への就職率が低いなど、極端な偏りがない点が特徴となっています。2021年3月卒業生の進路決定先は右のグラフのとおりです。



■ 本学の支援体制

本学では、学年の進行に合わせて支援のステージを設け、その枠組みに沿って様々なプログラムを構成しています。その中で、本学の代表的なサポートプログラムについてご紹介します。



①学内合同説明会【企業系、臨床系、官公庁・地方公共団体等】

各業種から多くの企業・施設が参加する合同説明会です。毎年2月・3月の土日を利用して開催しており、2021年度は計5日間にわたってオンライン形式で開催しました。

参加する担当者から各施設の詳細が聞ける上、一度に多くの施設と接触が持てる機会であることから、業種・職種の絞り込みに限らず、各施設とのマッチングに活用できるイベントとなっています。

<2021年度実績>

【企業系】業界研究セミナー

開催日時：2022年2月19日（土）、20日（日）
9:30～16:40
形式：オンラインライブ

【臨床系・公務員】学内合同説明会

開催日時：2022年3月6日（土）、12日（土）、13日（日）
10:00～16:30
形式：オンラインライブ

業種	施設数
製薬企業	38
CRO・SMO	8
医薬品卸	4
その他企業	7
計	57

業種	施設数
病院	63
薬局	26
公官庁等	9
計	98

②4年次キャリア面談

4年次生全員を対象に1対1の個人面談を行い、希望する進路についてヒアリングを行うとともに、いつ何をすべきか？などを希望する進路に基づいてアドバイスを行っています。この時点ではまだ進路を定めきれていない人もいたため、卒業後の進路を考える動機づけにすることも目的の一つとしています。

また、進路支援課でどのようなサポートを行っているかについても理解してもらい、以後活用するような働きかけをしています。

③個人面談

進路を決めることは、学生にとって大きな決断であることから、悩みや不安を抱える人が多くいます。そのような個人の悩みなどに対応するため、進路支援課では個別の面談を随時受け付けています。キャリアコンサルタントの国家資格を持つ職員が多くいますので、是非活用してください。個人面談は予約制となっており、1回50分の面談時間となっています。

また、就職活動の時期になりインターンシップや本選考に応募するとなると、エントリーシートや履歴書などの応募書類を提出する必要があります。自分のPRポイントをどのように伝えればいいのか？問いに対してどのような論理構成にしたらいいのか？などの対策相談にも進路支援課では個別に対応していますので、気軽に相談に来てください。また、面接試験を想定した模擬面接なども行い、学生が自信を持って選考に臨めるようサポートを行っています。

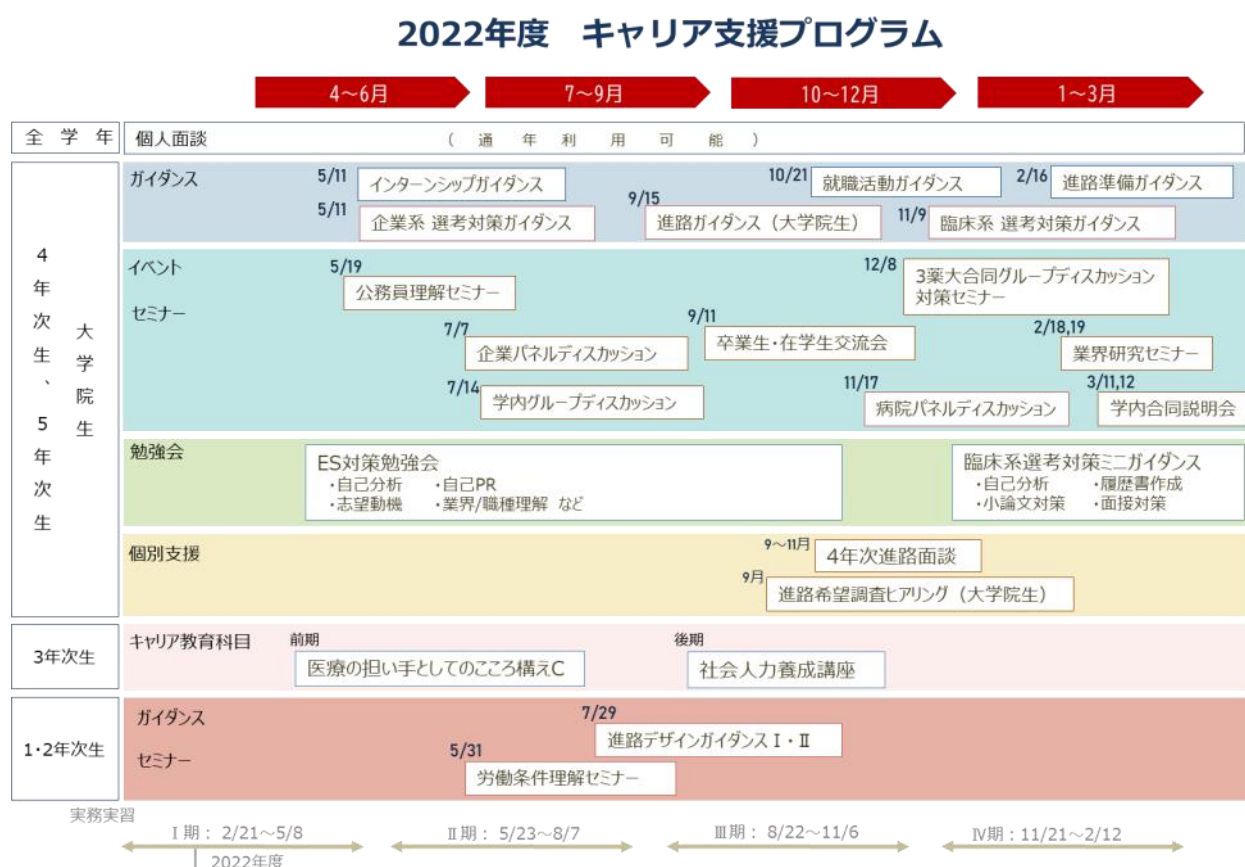
④他大学との合同企画

本学が実施しているプログラムの中には、他大学の学生も参加する企画も用意しています。中でも近畿の三葉科大学「大阪医科薬科大学」「神戸薬科大学」「本学」が共同で開催する企画があり、他大学の学生とのネットワーク構築の機会となっています。

特に、本学が企画する「三葉科大学合同グループディスカッション対策セミナー」は、多様な学生とディスカッションができる力をつけるための経験を積む機会となっています。



2022年度における進路支援プログラム



■最後に【自分が希望する進路を実現するために】

ご紹介してきたように、本学では今までの実績や就職環境をもとに様々な進路支援プログラムを用意しています。また、1学年360名という全国薬学部で2番目に多い定員数の規模であることから、毎年多くの卒業生が多方面に就職している実績があり、その蓄積された情報やノウハウが本学の進路支援の土台となっています。そのスケールメリットを学生それぞれが享受できる体制を整えていますので、それらを十分に活用して、希望する進路の実現を目指してほしいと思います。

また、就職活動というのは、自分の価値（長所や可能性）を先方に理解してもらう作業となります。エントリーシートや面接では様々な質問が投げかけられますが、質問の内容を突き詰めると、①あなたはウチに合ってるか？ ②あなたはウチで活躍できるのか？ ③あなたはウチに本当に入りたいのか？ という点に繋がります。そのような作業はほとんどの学生は初めての経験になりますので不安なことが多いと思いますが、家族、先生、友達、先輩・後輩など第三者の視点を参考にしながら、自分が納得できる就職活動にしてください。進路支援課がお手伝いできる部分も多いと思いますので、是非活用してください。

最後に卒業生など社会人からの声を紹介しますので、参考にしてください。



このコロナの影響下だからこそ、医療人としての使命や立ち位置を学べる機会があると思います。医療人の卵として、国民の命と健康を守るために自分は何ができるかを是非考えてみてください。

コロナ禍での窮屈な環境の中でも、自分で何かを見つけながら能動的に取り組むものを作ってください。社会ではどんな環境下でも常に主体的・積極的な姿勢が求められます。



エントリーシートを読んでいると、レポート作成などを日頃からしっかりと自分で考えながら行っているかが如実にわかります。大学での学び方は、就職活動やその後の社会での働き方にもつながることを意識してください。



単位互換制度 ～他大学の科目・講座を受けてみませんか～

教務課

【単位互換制度とは】

本学は公益財団法人大学コンソーシアム京都の単位互換制度に参加しています。単位互換制度とは、大学コンソーシアム京都に参加している京都府内を中心とした大学・短期大学が提供する科目を履修し、単位を修得すれば本学の単位として認定される制度です。昨年度は加盟校から345科目が提供されました。

修得した単位は、1年間1科目2単位まで（通年科目は1科目4単位まで）を限度として、卒業要件である「人と文化」の選択科目の単位として加算されます。

他大学の授業を受講し、さらに学びを深めてみませんか？

なお、単位互換科目の取扱いについての詳細は、学生便覧並びにシラバスを参照して下さい。

■単位互換制度の魅力

1. 講義科目は文化・芸術・政治・自然科学などほぼ全ての学問分野にわたる科目が提供されています。
2. 講義形態は持出講義、既存講義があり、持出講義は「キャンパスプラザ京都」（京都駅前）にて集中講義や土曜日・夏季休暇期間に開講されるなど、他大学生でも受講しやすいよう工夫されています。
3. 講義を受講することにより、他大学生との交流の機会が広がります。
4. 受講生は単位互換履修生として、科目開設大学の図書館等を利用することができます。
5. 全ての科目を無料で受講できます。ただし、科目によっては参考書・テキスト代等が必要です。

【受講方法】

受講の申し込みは、前期・集中・後期科目とも4月7日(木)13:00までに大学コンソーシアム京都Webサイトにて出願票作成後、教務課に提出して下さい。登録・出願方法の詳細、授業概要、シラバス等については大学コンソーシアム京都のWebサイトを参照して下さい。

<https://el.consortium.or.jp/login.php>

上記URLからは科目開講時に休講・補講・試験等の連絡事項も閲覧することができます。



大学コンソーシアム京都

学生生活における経済的な不安を少しでも解消し、安心して勉学に励むことができるように奨学金制度があります。募集については、随時manabaでお知らせします。出願の機会を逃さないようにして下さい。なお、家計が急変した場合には、緊急・応急での採用も随時可能ですので、学生課に相談して下さい。

■日本学生支援機構奨学金（貸与型）

経済的理由により修学に困難がある優れた学生に対し学資として貸与されるもので、貸与が終了した後、必ず返還しなくてはなりません。家庭の経済状況等に基づき、奨学金の貸与を受ける必要性、適正な金額、返還時の負担のことなどを十分考慮のうえ申込みをして下さい。定期募集は、年1回4月の募集のみです。奨学生に採用されると、卒業するまで貸与を受けることができます（留年中は停止）。

【奨学金の貸与月額】

奨学金の種類	貸与月額	
第一種奨学金 （無利子貸与）	自宅月額	20,000円、30,000円、 <u>40,000円</u> 、54,000円（何れかを選択）
	自宅外月額	20,000円、30,000円、 <u>40,000円</u> 、 <u>50,000円</u> 、64,000円（何れかを選択）
第二種奨学金 （有利子貸与）	20,000円～120,000円の中から希望月額を選択（10,000円単位） さらに最高月額（120,000円）に月額20,000円の増額希望可能	
入学時特別増額貸与 奨学金（有利子）	10万円、20万円、30万円、40万円、50万円の中から選択（大学1学年において 入学年月を始期として奨学金（第一種・第二種）の貸与を受ける者が対象）	

- 注）1. 下線付きの月額は、2018年度入学者から新たに選択できる月額です。2017年度以前の入学者は、下線付きの月額を選択できません。
2. 自宅外通学の学生は、「自宅月額」「自宅外月額」の中から月額を選択することができます。
3. 給付型奨学金と併用する場合、区分によっては第一種奨学金の貸与月額が減額になります。

【奨学金の申込基準】

奨学金の種類	募集月	学力基準	年収・所得の上限額の目安					
			給与所得世帯			給与所得以外の世帯		
第一種奨学金 （無利子貸与）	4月	高校 評定平均値 3.5以上	通学形態	上限額	最高月額選択時の 上限額	通学形態	上限額	最高月額選択時の 上限額
			自宅	804万円	753万円	自宅	396万円	353万円
			自宅外	851万円	808万円	自宅外	443万円	400万円
第二種奨学金 （有利子貸与）	4月	学習意欲があり 学業を確実に 修了できる 見込みがある	通学形態	上限額		通学形態	上限額	
			自宅	1,147万円		自宅	739万円	
			自宅外	1,194万円		自宅外	786万円	

- 注）1. 上表においては、本人、父、母（無職、無収入）、公立高校生の弟妹1人の4人世帯の年収・所得金額の目安です。
世帯員の人数、家庭事情等により異なります。
2. 給与所得者（年金受給者を含む）の場合は、源泉徴収票の支払金額（税込）です。
3. 給与所得者以外の場合は、確定申告書の所得金額です。
4. 奨学金の種類や貸与月額については、希望どおりとならない場合があります。

■高等教育の修学支援新制度（給付型奨学金・授業料等減免）

2020年4月より高等教育の新修学支援制度が始まりました。この制度には、①日本学生支援機構による給付型奨学金の支給、②授業料等の減免の2つの支援があります。①の給付型奨学生として採用された方は、②の授業料等減免の対象者となります。4月と9月（授業料等減免の申請は10月）の年に2回募集を行います。

【支援対象になる学生】

住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生（既に大学等に在学している学生も対象）

【支援を受けられる年収の目安と支給月額及び授業料減免額】

支援対象者	年収目安	給与所得以外の世帯	支給月額		授業料減免額 （年額のうち、以下の 金額を減免）
	給与所得世帯		自宅通学	自宅外通学	
住民税非課税世帯の学生 （第Ⅰ区分）	～約295万円	～約186万円	38,300円 (42,500円)	75,800円	900,000円
住民税非課税世帯に準ずる 世帯の学生（第Ⅱ区分）	～約395万円	～約267万円	25,600円 (28,400円)	50,600円	900,000円
住民税非課税世帯に準ずる 世帯の学生（第Ⅲ区分）	～約461万円	～約338万円	12,800円 (14,200円)	25,300円	900,000円

- 注）1. 上表においては、本人、父、母（無職、無収入）、公立高校生の弟妹1人の4人世帯の年収・所得金額の目安です。
世帯員の人数、家庭事情等により異なります。
2. 生活保護（扶助の種類を問いません。）を受けている生計維持者と同居している人及び児童養護施設等から通学する人は上表のカッコ内の金額となります。
3. 収入基準についてはJASSOホームページに掲載している「進学資金シミュレーター」（右記のQR）でより具体的に確認できます。
4. 2022年度入学者で新修学支援制度対象者については、上記授業料減免に加え、入学金400,000円の減免を受けることが可能です。（納付済み入学金を還付します）ただし、10月採用者は除きます。
5. 授業料の減免については、2期に分けて減免します。（前期450,000円、後期450,000円）



【学業等にかかる基準】

新入生	2 年次生以上
①高等学校等における評定平均値が3.5以上または、入学者選抜試験の成績が入学者の上位1/2の範囲 ②高等学校卒業程度認定試験の合格者 ③将来社会で自立し、活躍する目標をもって学修計画書により確認できる	①GPA（平均成績）等が学部等における上位1/2の範囲 ②修得した単位が標準単位数以上であり、将来社会で自立し、活躍する目標をもって学修計画書により確認できる

【その他要件】

- ・日本国籍、法定特別永住者、永住者等又は永住の意思が認められる定住者であること。
- ・高等学校等を卒業してから2年の間までに大学等に入学を認められ、進学した者であって、過去において本制度の支援措置を受けたことがないこと。
- ・保有する資産が一定の水準を超えていないこと（申告による）。

【適格認定】

支給の期間は原則卒業までですが、毎年1回家計基準と学業基準を満たしているか判定を行います（学業基準については上記基準と一部異なる）。それにより支援区分の見直しや、奨学金が廃止になる可能性があります。

その他、不明な点がございましたら、日本学生支援機構ホームページ(<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html>)をご確認いただくか、学生課窓口までご相談ください。

■京都薬科大学奨学金

本学独自の奨学金制度として、給付型・貸与型奨学金が設けられています。給付型奨学金は返還の必要がない奨学金で、貸与型奨学金は、卒業後返還となる奨学金です。公募となる奨学金は申請が必要である奨学金のため、申請を希望される方は、必ず指定の期間内に申請をして下さい。

奨学金の詳細は募集時期になりましたら、manaba上の各年次コースに掲示を行います。

種別		金額	募集人数	募集方法	対象等
給付型	新入生特待生	半期授業料(90万円)	約10名	大学選考 合格通知書に特待生通知書を同封	【2019年度入学者から適用】 新入生：入試成績上位者 ≪採用人数≫一般入試A方式：4名 一般入試B方式：5名 一般入試C方式：1名
	成績優秀者	5～20万円 (特待生は90万円)	各学年 約15名	大学選考 (4月)	【2019年度入学者から適用】 2年次生～6年次生 成績優秀者上位15名 新入生特待生制度を利用して入学した学生が、上位10名以内であれば90万円給付
	研究・課外活動優秀者	5～20万円	約10名	公募 (3月)	2年次生～6年次生 研究・課外活動において、顕著な実績又は成果を挙げた者
	遠隔地出身学生 (新入生予約制度)	60万円(月額5万円)	約12名	事前公募 (12月) 追加募集がある場合、4月に 別途manaba等により案内	【2021年度入学者から適用】 ・通学に合理的と認められる経路及び方法を利用し、片道120分以上を要する所在地に自宅(保証人の在在地等)があり、下宿生活をしている学生(保証人の所得基準有) ・入試前に公募、予約採用を決定する ・採用者が未入学等により、定員に余剰が出た場合、追加募集を行う ・6年間受給可能(継続審査あり)
貸与型 (無利子)		年額授業料の1/2以内	約10名	公募 (10月)	授業料の支払が困難な者 在学中に1回 10月募集、11月下旬貸与

■授業料減免制度について

本学では、学内奨学金制度に加え、大学等における修学の支援に関する法律に基づく授業料減免制度及び、別途本学独自の授業料減免制度を設けています。

それぞれ、前期申請については4月、後期申請については10月に受付を行いますので、希望される方は、学生課に所定の申請書を提出してください。それぞれ申請時期になりましたら、manaba上に申請要領及び申請書を掲載します。

種別		減免額	募集人数	募集方法	対象等
授業料減免	授業料減免制度 (学部)	90万円 (半期授業料)	約20名	公募 (4月・10月)	経済的な理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業成績が優秀な学生 (年収600万円以下で、国の修学支援新制度対象外の学生)
	法令等に係る授業料等減免 制度	40万円(入学金) 90万円(半期授業料)	対象者全員	公募 (4月・10月)	国の修学支援新制度対象学生 対象：日本学生支援機構 給付型奨学生採用者 (注) ・入学金の減免は、2020年度入学者で新修学支援制度対象者のみとなります。(納付済み入学金を還付します)ただし、10月採用者は除きます。 ・授業料の減免については、2期に分けて減免します。(前期450,000円、後期450,000円)

■その他の奨学金

地方自治体や企業、その他団体の奨学金制度があります。募集中の奨学金制度は、manaba上に掲載しており、随時更新しています。その他奨学金の募集に関して、相談・申請を希望される方は学生課までご相談下さい。

【学生課を通じて募集している奨学金（一部のみ掲載）】2021年度実績

奨学団体名	種別	月額	出願資格
河内奨学金	給付	40,000円	薬学部 一年次生
佐藤奨学会	給付	25,000円	大学・大学院に在籍し、学業・人物が優秀であり、学資支弁が困難と認められる学生
あしなが育英会	貸与	40,000円	保護者が病気・災害等で死亡またはそれらが原因で後遺障害を負っている学生
交通遺児育英会	貸与	40,000円～	大学・大学院に在籍しており、保護者等が交通事故により死亡または高度後遺障害を負った者
各病院・薬局独自の奨学金制度	貸与等		各薬局・病院が独自に募集している奨学金制度や返還助成制度等

その他多くの奨学金をご紹介します。

白衣授与式

Event

庶務課

2022年2月17日（木）午前10時から創立130周年記念館において、COVID-19感染拡大防止の対策を講じて白衣授与式を挙行政いたしました。

今回学生に授与した白衣は、教育後援会と京薬会からのご支援によるものです。

白衣授与式は、翌年の新5年次生全員を対象に病院・薬局での実習前に、将来薬剤師（医療従事者）となる者の責任と京都薬科大学の学生であることの自覚を再度認識していただくため、毎年度この時期に開催しているものですが、第Ⅰ期実務実習に参加する学生（116名）については実習開始の2週間前までに実習中の居住所に移動（帰省）しなければならないことから、残念ながら式典に出席していただくことができませんでした。式典では、学生の代表者が学長から白衣を授与された後、全員が校章と大学名の入った白衣を着用しました。その後、後藤学長からの式辞、赤路臨床薬学教育研究センター長からの「実務実習に向けた心構え」の説明後、教育後援会会長の岡本様と京薬会会長の西野様からそれぞれ挨拶

をいただきました。

最後に学生の代表から「学外での実習を通じて、将来薬剤師として医療に関わる際に必要となる力を習得できるよう、全力で取り組む」との誓いの言葉が述べられ、閉式となりました。



真新しい白衣に袖を通し、気持ちも新たに

News 京薬会だより

<4年次生に白衣授与>

白衣授与式が2月17日に挙行政されました。京薬会は、教育後援会とともに学外実務実習に参加する新5年次生の皆さん全員に白衣を贈呈しました。Withコロナとなった社会の第一線現場では大変でしょうが、京都薬科大学ネーム入りの白衣を着用し、自覚とともに5か月間の貴重な経験、実践力を積んでいただくよう活躍をお祈りします。

<京薬会代議員総会の日程（お知らせ）>

令和4年度（2022年）代議員総会は、5月28日（土）に学内で開催します。コロナ感染状況の動向に伴い開催に関する情報は随時、京薬会ホームページでご案内します。

URL <http://www.kpu-aa.com/>

<学生会員用京薬会WebサイトID>

学生会員が京薬会Webサイトを閲覧していただくためのIDを新たに設定しました。京薬会本部事務局までお問い合わせください。

メール：kyoyaku@kpu-aa.com



白衣授与式で後輩を激励する西野会長

今年度も京都橘大学と合同で実施している多職種連携教育（Interprofessional Education; IPE）研修会を12月13日に開催しました。今年度も新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行により集団感染防止の観点から開催が危ぶまれましたが、アルコールによる手指消毒やマスクの着用、ソーシャルディスタンス、講義室の換気など十分な感染防止対策を行い、無事にIPE研修会を開催することができました。

IPE研修会は2016年度から開催して今年度で6回目を迎えますが、今年度より京都橘大学の健康科学部作業療法学科が参加することになり、薬学、看護学、理学療法学、作業療法学の4領域の学生が一堂に会して多職種連携について理解を深める研修会になりました。

IPEの目的は「①医療チームの一員として自分の専門職の役割を理解する」、「②他の専門職の視点、考え方、役割を学ぶ」ことであり、異なった医療人教育を受けている薬学生・看護学生・理学療学生・作業療学生が共に話し合い（SGD）を通じて多職種連携の在り方や考え方などを知り、各職種にはどのような強みや弱みがあって、各職種が協働してどのような形でチーム医療に貢献できるのかを理解することが大きな目的です。

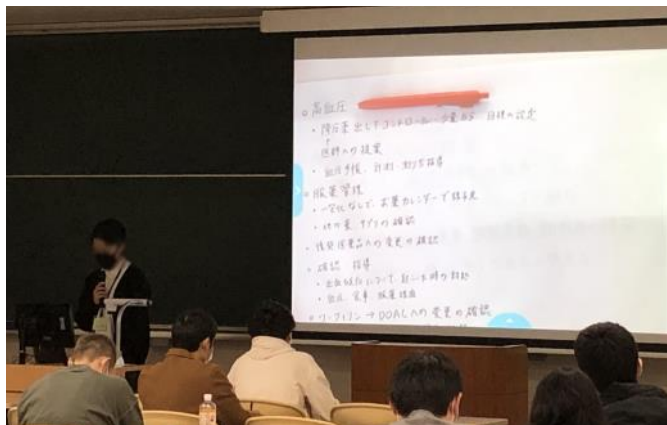
今年度の研修会に参加した学生は46名（本学：5年次生12名、京都橘大学看護学部：4年次生11名、京都橘大学健康科学部理学療法学科：4年次生12名、京都橘大学健康科学部作業療法学科：4年次生11名）でした。症例シナリオは「心原性脳梗塞により片麻痺になった患者に対する在宅でのチーム医療連携」で、I部ではまず同じ学科の学生同士でSGDを行い、このシナリオについて「各専門職として何ができる

か？」についてのアウトカムを考えたあと、II部では各学科の学生が混ざった学科混成グループにして「各専門職としてだけではなく、在宅でのチーム医療を実施するための共通目標を立てること」をアウトカムにしてSGDを行いました。実際に研修会を行ってみると、I部では同じ教育を受けているため議論がスムーズに進みましたが、II部では参加した学生達は各専門の医療人教育を受けてきているため、それぞれの立場からの考え方の違いが明確になり、それぞれの意見をうまく統合させた共通のアウトカムを導き出すのに苦労している様子でした。しかし、本研修終了後の学生からは「同じシナリオであるにも関わらず、着眼点が異なり、普段では思いつかない視点があることに気づかされた」という意見が多く挙がっていました。アンケート調査で「本IPE研修会を後輩にすすめますか？」という質問に対して、学生46名全員が「はい」と回答しており、卒業後もこのようなIPE研修会があれば参加したいと答えていました。

これからの地域医療は“病院完結型医療”から“地域連携型医療”にシフトします。これに対応するためには、治療（cure）だけでは不十分であり、発症後の介護・福祉も含めたケア（care）も重要になります。そのため、自らの専門的能力だけではなく、他職種の役割を理解した上で、多様な専門職と協働し、患者や利用者のニーズに応じていく実践的な能力を身に付け、医療現場で働き始めた当初から円滑なチーム医療を実践できるように学生時代からしっかり多職種連携について理解しておくことが重要であり、非常に大切な研修会であると考えています。



I部では学部ごとにSGDを行いました



II部では学部混成グループでSGDを行いました
（プロダクト発表）

2022年度生涯研修プログラム「卒後教育講座」および「eラーニング講座」申込受付中です。

◇「卒後教育講座」モノからヒトへの挑戦～患者のための薬学的介入の実践～

＊日程：2022年5月22日(日)、6月12日(日)、7月10日(日) 10:00～16:00

＊場所：京都薬科大学躬行館3階 T31講義室

＊定員：300名(予定) ＊受講料：12,000円 ＊認定単位：G24 計9単位(1単位/1演題)

＊申込受付期間：2022年3月1日(火)～5月9日(月)

＊申込方法：生涯教育センターホームページよりお申込みください。 <https://skc.kyoto-phu.ac.jp/>

開催日	10:00～11:30	12:30～14:00	14:15～15:45
	痒み、どうして起こる？～臨床と基礎の立場から～		
2022年 5月22日 (日)	皮膚の痒みの臨床 京都府立医科大学大学院医学研究科 皮膚科学教室 教授 加藤 則人 先生	痒みの発生メカニズム 京都薬科大学薬理学分野 准教授 藤井 正徳 先生	認知症患者の診療と 地域生活の支援 京都府立医科大学大学院医学研究科 精神機能病態学 教授 成本 迅 先生
	ダウン症候群はどんな病気？新型出生前診断？～臨床と基礎から解剖する～		
2022年 6月12日 (日)	出生前検査とダウン症 国立成育医療研究センター副院長 周産期・母性診療センター長 左合 治彦 先生	ダウン症治療法確立を目指した モデルマウスを用いた基礎研究 京都薬科大学病態生化学分野 准教授 石原 慶一 先生	地域連携における薬剤師の役割 県立広島病院 薬剤科 笠原 庸子 先生
	腸疾患と亜鉛欠乏		
2022年 7月10日 (日)	亜鉛欠乏と腸疾患 京都府立医科大学大学院医学研究科 免疫栄養学講座 教授 内藤 裕二 先生	亜鉛の働きと亜鉛欠乏による諸相 京都薬科大学代謝分析学分野 教授 安井 裕之 先生	知っておきたい！高齢者の口腔と 「食べる力」の変化 ～薬剤師としてのアプローチ～ 公立能登総合病院 歯科口腔外科 部長 長谷 剛志 先生

◇「eラーニング講座」

2022年度卒後教育講座および2022年度漢方講座を新規コンテンツとします。対面での研修会に代わる受講や理解度に合わせた学習にご活用ください。2021年度卒後教育講座および2021年度漢方講座コンテンツも再配信します。

＊配信期間：2022年6月1日(火)～2023年2月28日(火)

＊受講料：15,000円 ＊認定単位：G24 計49単位予定(1単位/演題)

＊申込受付期間：2022年3月1日(火)～2023年2月23日(木)

＊申込方法：生涯教育センターホームページよりお申込みください。 <https://skc.kyoto-phu.ac.jp/>

●本学の学生・職員は、今年度も2022年度eラーニング講座を無料で受講できます。視聴には生涯教育センター会員登録が必要です。受講希望者は、まずは実務・生涯教育課までメールでご連絡ください。詳しくは、manaba掲示板でご確認ください。皆さんの参加をお待ちしています。

●卒後教育講座の学内無料聴講には生涯教育センター会員登録は不要ですが、人数把握のため、受講希望者は実務・生涯教育課までメールでご連絡ください。

問合せ先

京都薬科大学 実務・生涯教育課

＊E-mail: s-center@mb.kyoto-phu.ac.jp

＊TEL: 075-595-4677 (平日10:00～16:00)

＊FAX: 075-595-4792



2022卒後教育講座
申込ページ



2022eラーニング講座
申込ページ

情報処理教育研究センター 教授 藤原 洋一
ハンス・ロスリング、オーラ・ロスリング、アン
ナ・ロスリング・ロンランド 著
上杉 周作、関 美和 訳

『FACTFULNESS(ファクトフルネス)：10の思い
込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見
る習慣』

日経BP社 (2019年)

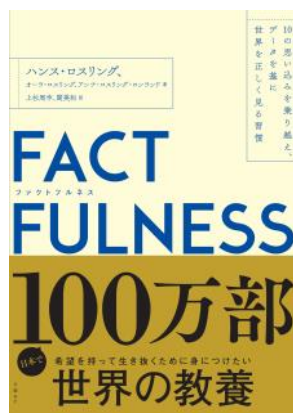
「ファクトフルネス (factfulness)」という言葉 そのものは辞書にはなく、いわゆる「造語」です。その意味はタイトルにあるように「データを基に世界を正しく見る習慣」であり、また文中にも出てきますが、「自分の内にある“本能”をできる限りコントロールして事実に基づいて判断する」ということです。今から2年ほど前に刊行されたこの本は、現在のようなCOVID-19感染症を取り巻く状況下、関連する種々の情報が錯綜する中で、より大切なものの見方のひとつではないでしょうか？

さて、著者らは導入部でクイズを13個紹介しています。例えば、『クイズ1：いくらかでも電気が使える人は、世界にどのくらいいるでしょう？(選択肢；

A 20%、B 50%、C 80%)』、『クイズ2：自然災害で毎年亡くなる人の数は過去100年でどう変化したでしょう？(選択肢；A 2倍以上になった、B あまり変わっていない、C 半分以下になった)』などのクイズが用意されています。答えは省きますが(興味のある方はインターネットで調べてみるといいかもしれません・・・；正解は本書に)、どの質問も大半の人は正解率が3分の1以下であり、しかも、専門家と称する人、学歴が高い人、社会的な地位がある人ほど正解率が低いと、ここでは紹介されています。私の正解率はというと(述べませんが)、50%も正解することはできませんでした。私などは「これは私の知識が単に古いままなのでその知識をアップデートすればいいだけでは・・・」と考えてしまいましたが、著者であるハンス・ロスリングらは「完全に知識をアップデートしようとしても、その正確な姿をとらえることは困難であろう」としています。著者らはその理由を“10の本能”が引き起こす思い込みにとらわれてしまっているからだ指摘しています。その本能とは一体何なのでしょう？(興味がわいてきたのではありませんか)

さらに本書では、教育、貧困、環境、エネルギー、人口など幅広い分野を取り上げて最新の統計データを紹介しつつ、“世界の正しい見方”、即ち、“10の本能”が引き起こす思い込みにとらわれず「ファクトフルネス」に考える方法を教えてくれます。本書は難しい数式や言葉もほとんど出てこないで比較的読みやすいのではないかと思います。

最後になりますが、皆さんもいろいろな問題や課題に突き当たることがあると思います。その際は是非、この「ファクトフルネス」を实践されてはいかがでしょうか？



NEWS 2022年度オープンキャンパス開催のお知らせ

入試課

2022年度のオープンキャンパスは下記の日程で行う予定にしています。
開催につきましては、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し決定いたします。
詳細が決まり次第、本学公式サイトでお知らせいたしますのでご確認ください。

2022年度オープンキャンパス

〈開催日〉

2022年6月5日 (日)

2022年8月6日 (土)・7日 (日)

2022年10月9日 (日)



受験生サイト

お問い合わせ

入試課

T E L : 075-595-4678

F A X : 075-583-2232

E-mail : kpu-koho@mb.kyoto-phu.ac.jp

こんにちは。2021年度京葉祭実行委員長の中尾真緒です。去る2021年10月30、31日、無事に2021年度京葉祭を終えることができました。京葉祭を開催するにあたり、多くのご支援、ご協力を賜りました大学の皆様、京葉会の皆様、その他関係者の皆様、本当にありがとうございました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、今年度の京葉祭開催にあたり、昨年度の先輩方が作ってくださったオンラインでの開催という形を引き継ぎ、さらに新しいものにできないかと考えました。そこで、今年度は日程を2日間にし、大学の配信環境をお借りして130周年記念館から生配信をすることにしました。まず、2日間の日程ということで、例年実行委員会が行なっていたステージ企画を復活させました。昨年度はふくびき企画とエンタメ企画の2企画だけでしたが、今年は5企画行いました。各企画を行うにあたり、全て今まで通りとはいかず、感染対策も考えつつどうしたら配信を見ている人たちに楽しんでもらえるステージになるかを、2年次生の企画長をはじめとする実行委員みんなで考えました。

特に大変だったのはカラオケ企画の実施です。例年では各団体十数人がステージで歌とダンスなどを披露し、観客も大勢集まるメインの企画の一つでした。しかし、今年は大人数でステージに上がり歌を歌うことが難しく、また配信ということから楽曲の著作権の問題もあり実施が困難でした。一時は企画の中止も考えましたが、実行委員や他の関係者の協力もあり、なんとか実現することができました。のど自慢大会のような形式で、今までにないカラオケ企画ができたと思います。出演者の方々にも楽しかったと言っていて、とても嬉しかったです。

また今年は、ゲストとしてお笑い芸人さんに出演していただきました。例年実施していたアーティストさんのライブは学園祭の目玉のひとつで楽しみにしている方も多かったので、なんとか実施したいと思いました。しかし、やはりバンドによる演奏には制限が多く、配信で見るメリットがあまりないと考え、お笑い芸人さんに出演していただくことにしました。当日に記念館に来ていただくことは難しく、収録にはなってしまいましたが、京葉を絡めたとても面白いネタを作ってくださいました。配信を見ていただいた方に少

しでも学園祭の雰囲気を感じ、楽しんでいただけていたら幸いです。

学園祭を実施するにあたり、昨年度と少し違う新しいものにしたいと思い、企画を考えましたが、それを実現するには様々な障害があり、中止になりそうだった企画や内容を大きく変更した企画もありました。こういうことをやりたいと思ってもそれを実現することの難しさを痛感しました。それと同時に実現のために学生課の方々やイベント企画業者、配信業者の方々など本当に多くの方にご協力いただき、学園祭が実施できていると実感しました。また企画が実施できるかわからない状況でも協力してくれた実行委員の皆さん、不安な気持ちもあったと思いますが、一緒に京葉祭を作り上げてくれて本当にありがとうございました。今もまだ刻々と状況が変わっており、これからどうなるかわかりませんが、先輩方が作ってくださった形と今年度の経験を引き継いで、来年度以降も学園祭を作り上げていってほしいと思います。

最後になりましたが、学園祭を視聴してくださった皆様、出演してくださった皆様、そして京葉祭実行委員の皆さん、本当にありがとうございました。至らない部分も多々ありましたが、ここまで協力していただいたこと、心から感謝いたします。この貴重な経験をさせていただいたことを光栄に思い、今後に生かしたいと思います。

改めまして、学園祭のためにご尽力いただきました大学の皆様、学生課の皆様、学生部長の上野先生、その他関係者の皆様、本当にありがとうございました。今後とも京葉祭、並びに京葉祭実行委員会を温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。



ステージ企画の様子

2022年度学費等の納付書を保証人様宛てに送付いたします。
下記の納入期限までに、学費等を納入してください。

	前期	後期
納付書発送	4月上旬	9月中旬
納入期限	4月30日	10月31日

■ 経済的な事情により、期日までに納入ができない場合は、学生相談員(3年次後期以降は分野主任)に相談し、事務局学生課にて速やかに学費延納手続を行ってください。

■ 所定の期限までに納入がない場合は、講義・実習等の受講及び各種証明書の発行が停止され、定期試験等の受験資格を失うほか、進級・卒業にも影響し、場合によっては退学処分となりますので、十分注意してください。

<納入手続のお願い>

金融機関窓口で納入される場合は、本学から発送しました納付書をご利用ください。

本学指定の金融機関をご利用いただきますと、振込手数料が無料となります。

なお、インターネットバンキングやATMをご利用される場合は、納入確認が困難となる事例が発生しておりますので、以下の点に十分ご注意くださいようお願いいたします。

振込人名義は、本学納付書の太枠のお振込人欄に印字された整理番号（半角のアルファベットと数字の組み合わせ）、学生氏名を必ず正しく入力してください。

※保証人その他のご家族等、学生ご本人以外の名義で振り込まれた場合、本学にて納入確認ができない可能性があります。

退職

生命薬科学系微生物・感染制御学分野

教授 小田 真隆

(2021年12月10日付)

共同利用機器センター

助教 安東 友繁

(2021年12月31日付)

兼務

事務局教務課

事務員 林 貴志

兼務 事務局学生課

(2022年1月25日付)

2022年度大学院薬学研究科

薬学専攻博士課程（冬季募集）の入学選考結果

Report

入試課

2022年度大学院薬学研究科薬学専攻博士課程（冬季募集）の入学選考を1月25日（火）に実施し、同日に合格発表を行いました。入学選考の結果は表のとおりです。

■ 2022年度大学院薬学研究科薬学専攻博士課程（冬季募集）の合格者数等

	冬季募集	2022年度合計（夏季募集含む）
志願者数	1名	10名
受験者数	1名	10名
合格者数	1名	10名

色々なことに興味を持ってください

黒田 絵莉子



2020年 大学院博士課程修了
(病態生理学分野)

金沢医科大学
生命科学研究領域
細胞医学研究分野 助教

私の学生時代を振り返ると、恥ずかしながら入学当初はそれほど意欲的な学生ではありませんでした。医療関係者であった家族から影響を受け、何となく将来の選択肢として薬剤師を選んだという経緯から、入学してしばらくは自分が何になりたいのかははっきりとしないまま過ごしていました。そんな中、転機となったのは3年次の研究室配属でした。

私が配属された病態生理学分野では先生方を筆頭に研究熱心な学生が多く集まっており、私自身も「アルツハイマー病の新規治療法開発」に関する研究を行う中で「未知の現象を自らの手で明らかにできる」という研究の魅力に引き込まれていきました。その後「研究をもっとしたい」という思いのまま大学院に進学し、現在に至ります。実験内容を自

分で一から考え、先生や仲間たちと相談・議論しながら研究を進めていくという経験は苦しい時もありましたが、そのお陰で論理的思考力や忍耐力、コミュニケーション能力など研究を続けていく上で必要な能力を身に付けることができたと思っています。

ところで私は現在、金沢医科大学で細胞ストレスの一種である「ミトコンドリアストレス」に着目した新しい研究テーマに取り組んでいます。医学部の研究室という、これまでと違う環境下に来て一番感じていることが、薬学部出身者は薬全般に関する専門家として大きな信頼を寄せられているということです。例えば実験で新しい試薬や薬剤を使用する際、この薬物はどの溶媒に溶かしたらいいのか、どうやって合成されているのか等、基礎研究の場でも薬に関する様々な助言を求められます。私は生命科学系の研究室だったこともあり有機合成系の話はわからないこともあるのですが、話題を振られた時に「もっと勉強しておけばよかった」と後悔することも多々あります。

最後になりますが、薬学部というのは将来の進路が薬剤師だけに限らず多岐にわたることが魅力の一つだと思います。学生の皆さんは自分が夢中になれることを見つけ出す為にも、ぜひ色々な事に挑戦して知見を広げてください。私自身、学生時代に学んだ事で無駄なことはなかったと実感しています。皆さんの学生生活が楽しく有意義なものになることを願っています。

Library News

図書館

国立情報学研究所（NII）が提供する学術論文等の検索データベース・CiNii Articlesは2022年4月よりCiNii Researchに統合されました。CiNii Researchでは、大学や研究機関が公開している研究データや学術論文、書誌情報、博士論文、研究プロジェクト情報など、幅広い研究リソースを横断的に検索できるようになり、より使いやすくなりました。また、本学で契約している朝日新聞記事データベース「聞蔵Ⅱビジュアル」も2022年春に「朝日新聞クロスサーチ」に名称を変更し、使いやすさに配慮した画面デザインに一新される等、全面リニューアルの予定です。記事・紙面・人物・アサヒグラフ・現代用語（知恵蔵）のコンテンツを横断検索できるようになり、様々な機能が強化されます。どちらのデータベースも図書館ホームページの「データベースで探す」から利用可能です（※「朝日新聞クロスサーチ」は学内ネットワークからのアクセス限定です）。ぜひご活用ください！

◇本学図書館の開館日程についてはホームページをご覧ください。

<https://www.kyoto-phu.ac.jp/library/>



新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。コロナ禍での生活は、かつて経験したことのない様々な苦勞を伴ってきたことだろうとお察し致します。それらを乗り越えて、みなさんは今、新たな環境での学びを始めようとしています。新しい生活を前に、「期待」と「不安」のどちらの思いも強く感じておられることでしょう。

在学生のみなさんも新年度を迎え、心新たにご自身の目標に向かって進んでいこうと決意されているところでしょう。「焦らず、たゆまず、怠らず」の思いを胸に着実に歩んでいけるといいですね。

さて、いまだCOVID-19禍は収まらず、私たちの生活はなかなか落ち着きません。2020年1月に国内で初めて感染者が確認されてからすでに2年が経ちました。その影響の個人差は大きく、いわゆる分断や対立のような構図が起きやすい社会状況にもなっています。また、個人の抱える不安や不満がSNS等を通じて匿名性を帯びた形で表現されることも増え、さらなる不安や不満が喚起されてしまうという様子も見えてとれます。そして、社会環境が不安定であることから、知らず知らずのうちに私たちのこころがその悪影響を受けてしまっていることは決して珍しいことではありません。

みなさんはこのコロナ禍をどのように過ごしてこられたのでしょうか。きっとそこにはそれぞれの思いに満ちた物語があることでしょう。心理療法の一つにナラティブセラピーというものがあります。ナラティブとは「物語」「語り」を意味します。相談者は自分自身についての物語を話していき、カウンセラーはその対話空間が広がるような問いかけをしていきます。その語りを通じてどんな世界を生み出そうとしているかを聴き手とともに探索していきます。するとそれまでバラバラだったり、意味がなかったことであったり、別々に思えたことがつながってきて新たな意味をもつ別の物語ができてきます。結果的にその人にとっての生きやすさや心身の不調からの回復につながることを目標とします。そのアプローチ法は心理療法だけではなく、医療福祉分野の対人援助の現場でも広く知られるようになってきています。

学生相談室でのカウンセリングでは、みなさんの語りをぜひ聴かせていただきたいと思います。カウ

セリングと聞くと「なんとなく行きづらい」「しんどくても別に自分はそこまで必要ない」と思われる方も少なくないかと思います。1995年から小中高で配置されるようになったスクールカウンセラーによって、「学校の中には先生以外にも相談できる人がいるし教室とは違う居場所もある」ということが知られるようにはなってきましたが、それでもなお「ごく限られた特別なニーズがある人が行くところ」というイメージを持たれがちです。

しかし、学生相談室カウンセラーとしては、不調による心身の症状が出ている時はもちろんのことですが、それ以前の状態でもぜひ利用していただきたいと考えております。例えば、「自分に何か不調の症状が出ているわけではないけれど気持ちがモヤモヤする」、「悩み事が頭から離れず気分が晴れない」、「この不安を誰かに話したいけど友達や家族には負担をかけたくないし話しにくい」のようなストレスが高じて混乱している頭の中を整理したり、様々な現実が複雑に絡み合いもつれてしまった糸を少しずつ解きほぐしたりするために話しに来てもらうという場所になればと思っています。それはさらなる不調を防いだり、自分の状態に改めて気づいたりできるため、予防的カウンセリングにもなるのです。

また、学生生活を送る上での困りごとにどう対処するかということ、その解決に向けて具体的に考えていくお手伝いも可能です。例えば初めての一人暮らしでの戸惑い（食事、家事や健康管理について等）、生活の仕方のこと（スケジュールの計画や管理、生活リズムについて等）困ったことがあれば、お気軽にご利用ください。必要に応じてアドバイスしたりより適切な相談場所におつなぎしたりすることも可能です。学生相談室は、「学生生活に関わるよろず相談所」だと思ってもらえると幸いです。

そして、学生ご本人だけではなく保証人や教職員の方のみなさんにもご利用いただける場所となっております。何かお困りのことがございましたらお気軽にご相談くださいませ。

(臨床心理士 上野みな子)

●相談申込み・問合せ先

学生相談室 育心館4階

相談を希望される方は電話もしくはメールにて予約をお願いいたします。相談は無料です。なお、COVID-19感染拡大防止の観点から、対面相談のほか、オンライン相談（電話またはTeamsの音声通話）も実施しております。相談方法につきましてはカウンセラーにご相談下さい。その他詳細はお問合せ下さい。

- ・開室（受付）時間：月～金 8:45～17:15
- ・電話：（075）595-4672（建部） / （075）595-4686（上野）
- ・メール：gakusou@mb.kyoto-phu.ac.jp

News クラブ・サークル紹介

本学で活動しているクラブ・サークルの一部を紹介します。※現在はCOVID-19感染防止のため、一部活動を制限しています。

男子バレーボール部

現在プレイヤー13人、マネージャー2人で活動しています。初心者の方も経験者に教えてもらいながら楽しくゲームしています。マネージャーも大募集です。少しでも興味ある方は是非お越しください。お待ちしております。



華道部

昼休みに四季折々のお花を、のんびり楽しく生けています。お免状も取ることができ、初心者の方も大歓迎です！



京葉祭実行委員会

毎年秋に開催される京葉祭の運営を行っています！仲間と共に学園祭を一から作り上げる達成感、青春を味わいませんか？



軽音楽部

軽音楽部は自分達で練習時間を決めて日々練習に励んでいます。楽器初心者の人がほとんどなので、未経験でも大丈夫です！軽音ライフを楽しみたい人お待ちしております！

おしゃれ貴族（テニスサークル）

テニス初心者が大勢います。BBQや旅行などのイベントも開催しています。テニスしたい人、大学生活を楽しみたい人、ぜひ！

合唱部

感染防止に努めながら週1回活動しています。勉強、アルバイトなどとの両立もしやすいですよ！ぜひ来てください！

女子バレーボール部

初心者でも経験者が丁寧にサポートして、みんなで楽しく週2回活動しています。ぜひ一緒にバレーボールをしましょう！



ギター・マンドリン部

マンドリン部は毎週火、金曜日16:00～19:00に活動しています。現在は、毎月自分たちの演奏したい曲を合奏しています！

先輩後輩分け隔てなく和気あいあいと活動しています！部員のほぼ全員が初心者なので、楽器経験がなくても始めやすいです！大学への入学を機に、新しいことに挑戦してみませんか？経験者も未経験者も大歓迎です！



ヨット部

毎週土曜日、琵琶湖で練習しています！

ヨットは馴染みがないスポーツですがだからこそ貴重な経験ができるチャンス！充実した学生生活を送れること間違いなし☆



管弦楽部

定期演奏会をひとつの目標として日々練習しています！初心者、経験者どちらも大歓迎です！私達と一緒に音楽を楽しみましょう！



柔道部

活動は週2時間を2回の活動です。運動経験がほぼ無かった人から経験者まで、自分のペースで無理なく練習出来ます。



下記の方々からご寄附をお寄せいただきました。ご協力ありがとうございました。

* 高額のご寄附（10万円以上）を頂いた方は、京都薬科大学奨学金規則及び学生便覧に掲載させていただきます。

* 敬称略、芳名のみ掲載しております。

* 100万円以上を頂いた方は、愛学館エントランス『京都薬科大学 高額寄附者顕彰銘板』にも掲載させていただきます。

2021年12月～2022年2月にご寄附をお寄せいただいた方々

< 卒業生・同期会等（五十音順）>

赤神 禮子	尾崎 朋久	鈴木須美子	古本 良子
東 富雄	小野寺多万樹	高橋 郁夫	古本 靖弘
東 貴美子	加藤 恵子	高橋 航平	前川由美子
天ヶ瀬紀久子	川口たか子	張 賢二	松村 高明
荒川 毅	河尻 毅	出嶋 博子	三浦 直子
安藤 寛治	北澤 節子	戸井 一郎	宮本 博之
池田 博充	黒岡福里子	道免 陽子	村田 保
池田 正澄	好田多恵子	遠山ミチコ	村山猪一郎
石野由香里	木島 早苗	富永 勲秀	森 一二美
糸井 朋子	木島 孝夫	仲 俊典	森 新
稲垣 美幸	小林 哲弥	永瀨 淳子	森川 貴之
井村 良視	小林 知子	中原 幸子	山本 智子
岩下 知生	坂本美智恵	中平真由美	山本 好子
岩谷 滋	定永祐布子	七海 禮子	吉田千枝子
上田 広蔵	下中 睦子	七海 朗	吉村 菊子
上田 啓三	篠原 正史	成田 新一	渡邊 温
榎本 紀彦	渋谷 禎彦	野儀優比子	渡邊由佳子
大賀 弘一	島 知子	原 久子	
大嶋美奈子	嶋瀬 棟正	廣海 玄勝	
大原 松雄	新川 神奈	福田 芙美子	
奥林 活人	杉原奈良恵	布施知加子	

< 法人役員・評議員・職員等（五十音順）>

有本 収（教授）	児玉 孝（評議員）	浜崎 博（名誉教授）
飯居 宏美（助教）	後藤 直正（学長）	開 章宏（講師）
勝見 英正（准教授）	高田 眞介（職員）	山田 作夫（評議員）
河野 享子（助教）	高野 江里（課長）	
串田 ゆか（評議員）	中谷 庄吾（課長）	

（2022年2月28日現在）



KPUnews No. 209 2022年4月発行／編集：KPUnews編集委員会

発行：京都薬科大学 〒607-8414 京都府京都市山科区御陵中内町5 ☎075-595-4691（企画・広報課）

※本誌掲載の文章及び写真の無断転載を禁じます。